



浜田市立第三中学校学校便り 第10号
2025(令和7)年2月20日(木)
〒697-1322 浜田市日脚町 572
TEL 0855-27-1150
FAX 0855-27-1151
E-mail dai3@hamada.ed.jp

「令和6年度 学校評価から見えた課題と改善に向けた手立て」

昨年末に、学校評価に向けて、保護者の皆様、生徒、職員を対象にアンケートを行いました。特に今年度は昨年度より非常に多くの保護者の皆様から回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。結果と振り返り、そして課題に対する手立てにつきましてお知らせします。なお矢印は昨年度との比較で肯定の増加傾向を↑で、同程度を→、否定の増加傾向を↓で表しています。

結 果

<肯定的評価が高い(約 80 ポイント以上)項目>

- 学校は、学校や社会のルール、時間や期日を守ることにについて指導している(保 82%↓・生 85%↓)
- 先生は、問題やトラブルが起きたとき、解決に向けて行動してくれる(生 83%→)保 71%↓
- 学校は、たよりやホームページ、メール配信を通して情報を伝えようと努力している(保 81%→)教 96%
- 私(お子さん)は、学校や社会のルール、時間を守って生活している(生 91%→)保 78%↓
- 私(お子さん)は、睡眠やメディア接触などの、基本的生活習慣が身についている(生 84%→)保 42%↓
- お子さんは(私は)、他の生徒に対して思いやりを持った言葉がけや行動をとっている(保 82%↓・生 88%→)
- 先生は、「めあて」や「ふりかえり」、「話し合い活動」などで、分かりやすい授業になるよう工夫している(生 82%↓)
保 48%・教 96%
- 三中生は、話し合い活動などで、他の人の考えや意見をきちんと聞いてくれる(生 83%→)
- ご家庭でも生活習慣や、マナー・ルールなどについても話をしていただいていることがアンケートからも伺えました

<肯定的回答が低い項目>

- ▽学校は授業を工夫するなど、子どもの学力向上に努めている(保 48%↓)生 82%・教 96%
- ▽学校は、家庭学習が習慣化できるよう、さまざまな取組をすすめている(保 40%↓)教 84%
- ▽三中生は、学校や社会のルールを守って生活している(保 46%↓)生 74%・教 44%
- ▽三中生は、他の生徒に対して思いやりを持った言葉がけや行動をとっている(保 46%↓)生 46%・教 40%
- ▽お子さんは、宿題や課題などの家庭学習に意欲的に取り組んでいる(保 46%↓)生 76%

振り返りの一部

全体的に保護者・生徒の肯定的な回答の割合が昨年度と比べて低下している。

<学習面>

教職員の結果からはタブレットなど ICT 機器の積極的に活用を図り、授業改善にも特に数学科を中心に取り組んでいる。一方、特に保護者の結果から学力の向上を実感として感じられていない実態がある。家庭学習については本年度、各教科で積極的に宿題を出す取り組みを行った。生徒は、家庭学習の取り組みに肯定的な回答の割合が増加したが、保護者は減少している。

<生活面>

ここ数年、生徒や保護者は、自分(お子さん)は「ルールを守って生活している」「思いやりを持った言動をしている」は高評価だが、「周りの生徒の言動」に対して評価が低く、意識のずれが見られる。また「基本的生活習慣」についても生徒と保護者の間で意識の差が見られる。また、上記の結果には書いていないが、教職員は生徒の「よいところを認め伝えている(90%以上)」と感じているが、生徒(73%)・保護者(75%)と意識の差が見られ、教職員の姿勢が今一度問われている。さらに「学校に行くことを楽しみにしている」と答えている生徒(76%)・保護者(74%)ともに割合が昨年度より低下していることも見逃してはいけなと捉えている。

手立ての一部

<学習面>

- ◎授業改善については、引き続き数学を中心としながら、全教科で学習内容の定着を図る授業を進めていきます。また、新しい教科書のコンテンツなど、ICT 機器の積極的な活用していきます。
- ◎家庭学習については引き続き、各教科で宿題を出す取り組みを行います。生徒の意識の向上も見られるので保護者の方にも引き続き声かけなどご協力をお願いします。また、タブレットでの個別学習コンテンツ(タブドリ Live など)の活用もすすめます。

<生活面>

- ◎引き続き道徳やココロフォーラムなどの人権学習、生徒同士の交流活動を生徒会活動とも併せて進めていきます。また、来年度から始まる学校運営協議会の方とも協力しながら地域との活動の充実を図り、自己有用感を育むとともに、自分を見つめ他者をいたわる思いやりのある言動ができる生徒の意識の醸成に努めます。
- ◎生徒のよい面をこれまで以上に積極的に伝えとともに、生徒との関わりを増やし、生徒が相談しやすい環境づくりを推進します。また、相談に対しては保護者と連携を取り合いながら、安心した学校生活が送れるよう対応を進めていきます。

2年生ジョブカフェ(2月6日)

2年生では、地元の企業や職業についての理解を深めるキャリア教育の一環として、「ジョブカフェ」を行いました。浜田市役所商工労働課の協力をいただき、浜田市内の10の事業所(やさか共同農場、マルハマ食品、西川病院、美川苑、日本海信用金庫、石見ケーブル、ケーピー、自衛隊、柏村印刷、サンクラフト)の方々をお招きし、各班の生徒が15分ずつ、6つの事業所のお話を聞き、質問をするという形で行いました。事後学習では、各事業所について学んだことや進路選択に向けて頑張りたいことを振り返る時間を設け、生徒からは、「働くことは人の役に立つやりがいがある」「働くことは人とのつながりを大切にすること」「中学生のうちからたくさんの人に出会うことの大切さが分かった」などの感想が聞かれました。生き方や将来について考える良い機会となり、充実した一日となりました。ご協力いただいた事業所及び浜田市役所の皆様に感謝いたします。(三島)



1年生建設現場見学会(2月4日)

1年生は、五洋建設さんに来校していただき、防波堤にして海に沈めるケーソンの建設現場見学を行いました。浜田港の福井地区防波堤工事の事業内容を説明され、浜田港の今昔、特徴を具体的にお話しいただきました。荒天で海が荒れていた中でしたが、実際に工事現場をバスで見学し、防波堤の力で波がほとんど立たないといった状況を目の当たりにすることができ、生徒も驚いていました。



また、VRやARの体験をしたり、体育館でドローンの操作体験をしたりしました。1年生は総合的な学習の時間で防災について1年間学習しましたが、この見学会も関わりの深い内容でたくさんの角度から学ぶことができ、防災についての意識向上につながったと思います。(阿部)

入学説明会(2月12日)

入学説明会を開催しました。4月から始まる三中学生活の説明を新入生とその保護者の方に聞いていただきました。説明会前半では生徒会総務の説明に拍手が起きました。後半では新入生は希望の教科に分かれて中学校の授業体験を行い、新入生同士の交流も深まりました。(永見)



ふれあい交流会(2月12日)

入学説明会の授業体験と並行して、特別支援学級では、「ふれあい交流会」を行いました。周布小、長浜小、美川小の4～6年生の8名が、たんぽぽ学級の自立活動の授業を体験しました。三中のたんぽぽ学級とひまわり学級の生徒と一緒に巨大すごろくゲームをしました。この日のために、たんぽぽ学級では、巨大なサイコロやオリジナルのコマ、すごろくシートを作成し、小学生と活動することをとても楽しみにしていました。ただサイコロを振るだけではなく、問題に答えたり、となりの人と話したり、学校や学年の垣根をこえて交流したりすることができました。

お互いのことをたくさん知ることができた、楽しい1時間になりました。

(野津)



赤い羽根共同募金について

昨年10月から呼びかけをさせていただいておりましたが、赤い羽根共同募金の集計が終わりました。今年度は皆様のご協力により、2,402円集まりました。ありがとうございました。このお金は地域での様々な活動に役立てられます。来年度も引き続き、赤い羽根共同募金への協力を福祉委員会から呼びかけますので、その際はよろしくお願いします。